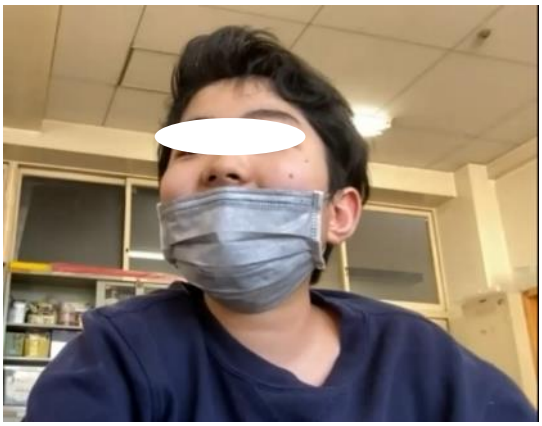
学校間交流

～西淀川支援学校とのオンライン交流～

本校・訪問教育部：進路指導主事

２０２３年２月２７日（月）、大阪府立西淀川支援学校の小学部６年生の児童１名（以下、Ａさん）と、本校教育部の高等部の生徒２名（以下、２年生はＢさん、３年生はＣさん）がオンラインで交流しました。昨年度に続き、オンラインでの交流は２回目です。今回は卒業シーズンということもあり、お互いの好きなことや学校生活について話しあったり、卒業後の思いなどを伝えあったりしました。



▼西淀川支援学校の児童（上）と本校高等部の生徒たち（下）

まず、お互いに好きなことを紹介しあいました。３人が共通する好きなことは、ゲームをすることです。Ａさんは、「バイオハザード」や「鉄拳」、「太鼓の達人」、「ペルソナ」など幅広いジャンルのゲームを楽しんでいると伝えてくれました。特に「ペルソナ」は５周もしているということで、同じゲームをプレイしているＣさんは非常に驚いていました！

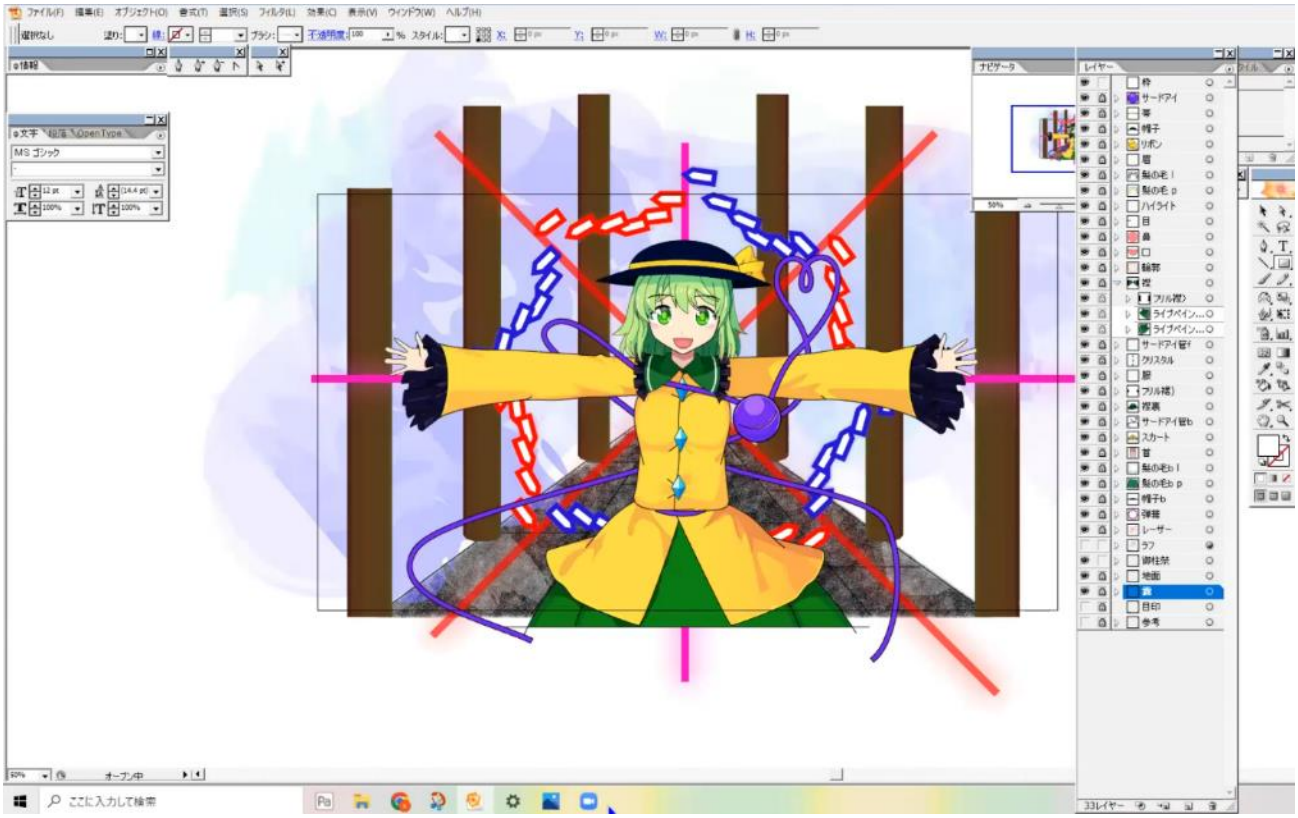
和気あいあいとした楽しい雰囲気で会話を交わすことができました。

▼西淀川支援学校の調理実習の様子

Ａさんから「実は見せたいものがあります」という話がありました。**西淀川支援学校の調理実習の動画を自ら編集したもの**でした。画面を共有して見せてもらうと、とても上手に作られており、生徒たちは感心していました。

Ａさんは動画編集に凝っており、**１年で６００本ほどの動画を制作している**ようです。お家では気に入ったインターネットミームを取り入れながら、独自の感性で動画を作っています。その一例を見せてもらうと、生徒たちはＡさんの動画編集に対するパッションにただただ圧倒されていました。

▼Ａさんの創作意欲溢れる動画のワンシーン



▼B さんがプレゼントとして描いた「こいし」

パッションの高さでは B さんも負けてはいません。B さんは、昨年度に A さんとオンライン交流した際に、東方プロジェクトが大好きという共通点があることを覚えていました。A さんは「こいし」というキャラクターが好きということを覚えていたため、B さんは最近練習している illustrator で「こいし」を描いてプレゼントしようと準備していたのです。

「こいし」を見た A さんは「すげぇ！ありがとうございます」「僕もスマホでアイビスペイントを使って絵を描いているんですが全然レベルが違う！」と感動していました。B さんは「頑張ってたくさん時間をかけて描いたので、気にってもらえたら嬉しいです」と話していました。

次のページには、B さんがイラストを完成させるまでの過程を説明したものがありますのでご覧になってください。

『反応「妖怪ポリグラフ」　古明地こいし』が出来るまで

参考イラスト

『東方ダンマクカグラ』公式サイトより

【ある少女の記憶】古明地 こいし

https://danmaku.jp/card/r008/

『東方地霊殿～Subterranean Animism.』より

『古明地こいし』

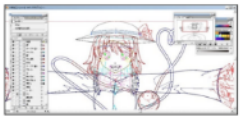
https://www16.big.or.jp/~zun/html/th11top.html

小話の集まり

ラフ画

ただのあたりを付けるための線です。太い線は最初に入れたもので、細い線は原作を見ながらサードアイの構造を書いたものです。

パス



パスとは腺のことで、絵の中の線や色の境界線上に置く線です。線が多いほど細かい絵になります。

フリル

この絵の中で一番大変だった箇所です。腕と襟にあります。書き方としては、まず、継ぎ目の部分と端に楕円を置いて、端を描きます。次に端から継ぎ目に楕円へ直線を繋ぎ、線画を描きます。その後、色分けをして、バケツツールで塗ります。（一か所３時間以上）

記録

レイヤー数…29 枚

どの線なのかをわかりやすくレイヤーに分けています。全体で 29 種類になりました。

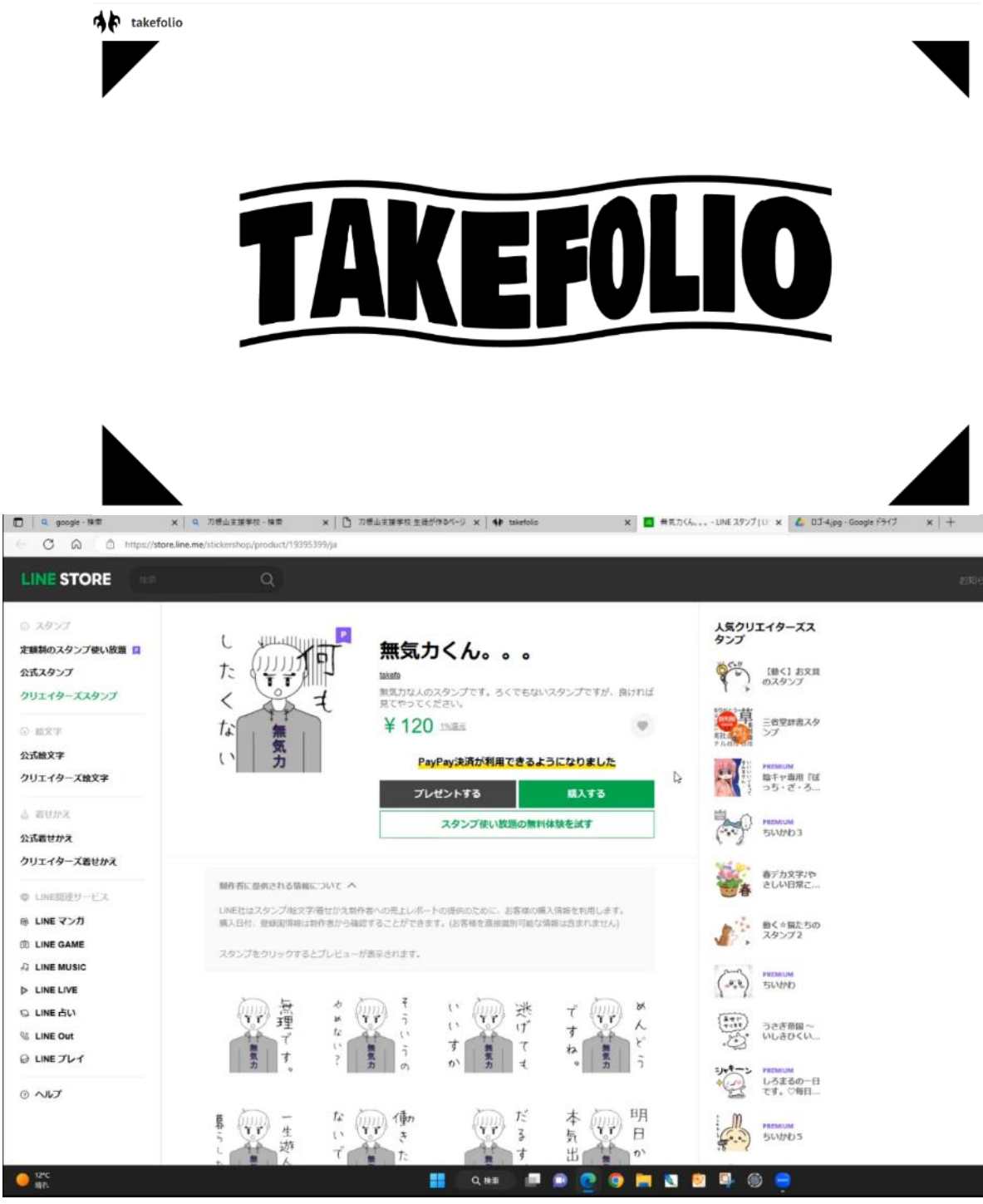
クリック回数…約 24000 回

データが少ないため、もっと多い可能性あり。

イラストの元ネタ

このイラストの元ネタは"古明地 こいし"のスペルカードの一つである"反応「妖怪ポリグラフ」"をモチーフに後ろの弾幕を作りました。そして、青景の棒は守矢神社の御柱で、東方地霊殿ゲーム内での戦闘場所をイメージして作りました。

▼B さんが作成したイラストの解説文



▼C さんが作成したポートフォリオ(上)と LINE スタンプ(下)

続いて C さんも、自身が作った web サイト「TAKEFOLIO」を紹介しました。高校３年間のうちに制作した作品が載ってあります。特に話題になったのがオリジナル LINE スタンプ「無気力くん。。。」です。絶妙に使いどころに迷うスタンプですが「これめっちゃ使える！」と A さんは言ってくれました。西淀川支援学校の先生も購入してくれました。

▼A さんが制作した宝箱（上）と電子ドラム演奏の様子(下)

　A さんは西淀川支援学校の生活を振り返ったときに、色んなもの作って活躍できたことことが印象に残っているようで、自作の宝箱を見せてくれました。

　さらに、A さんは文化祭で電子ドラムを演奏したようで、卒業のお祝いとして、その腕前を披露してくれました！…残念ながら、ZOOM の仕様上、声以外の音声が雑音と認識され制御されたため音色は聞こえませんでした。しかし、華麗なドラムスティックさばきから、相当な腕前の持ち主ということはよく伝わりました。

▼本校の文化祭の様子　マジックショー（上）とコント（下）

Ｂさん、Ｃさんからも刀根山支援学校での今年度の文化祭の様子について動画で伝えました。マジシャン Mutou のマジックショーと、とねポケのコント「遅刻」です。Ａさんや西淀川支援学校の先生たちも興味深く見てくれました。

最後に、卒業学年であるＡさん、Ｃさんを中心に、卒業後についてどのような思いを抱いているのかを話しあいました。西淀川支援学校の小学部を卒業後、中学部に進学するＡさんは「アクセル全開で頑張りたい！」と話してくれました。アグレッシブに活動されているＡさんですが、まだまだブレーキをかけているとのことです。さらなる成長が楽しみですね！Ｃさんは「卒業後は自分で自分のことを管理していかなくてはならないので、身体に無理なく頑張っていきたい」と話しました。

終始、楽しい雰囲気で交流をすることができました。ありがとうございました！